

☆令和4年度千葉地本即応予備自衛官だより☆



令和4年度も終わりに近づき、新たに即応予備自衛官に志願され、令和5年度から新たなスタートを迎える方がいる中、今年度を最後に任期満了（上限）退職される即応予備自衛官で、第31普通科連隊本部管理中隊衛生小隊に所属する藤田 明 即応予備1曹にお話を伺いました。

【プロフィール】

藤田 明 即応予備1曹(54歳)

- S62 陸上自衛隊入隊
- S63 第1普通科連隊第4中隊迫撃砲小隊(練馬)に配置 弾薬手・補助担架(救護)要員・ラップ手・車両操縦手としてご活躍
- H3 任期満了退職、予備自衛官志願
- H7 准看護師資格取得
- H14 即応予備自衛官志願
- 第31普通科連隊本部管理中隊衛生小隊(武山)に配置 衛生救護員としてご活躍
- R5 任期満了(上限)退職
- 永年勤続表彰4回
- (地本長、東部方面総監、陸上幕僚長、防衛大臣)



▲▼部隊を指揮する
藤田即応予備1曹



ご勤務:医療法人社団 せいけいかい 誠馨会 介護老人保健施設 しゅうびん 秀眉園(千葉市) 看護部所属

- 即応予備自衛官として21年間、全ての訓練を終えた感想をお願いします。
- 楽しいことだけではなく、辛いこともありました。しかし、出頭時、周りの方々のサポートや部隊の方々に訓練指導していただき、人と人との繋がりが自分を成長させてくれたと実感し、皆様に感謝しております。
- 大変だったことは何ですか。
- 衛生小隊は特別な技能を必要とする専門的な職種です。人命救助に必要な体力練成、専門用語の理解、技能を習得するのに苦労しました。しかし、仲間で助け合い、できなかった事ができるようになった時、困難を乗り越えた先に喜びがあり、仲間の大切さを感じました。
- 訓練から得たものはありますか。
- どんな訓練も、常に向上心をもって真剣に取り組むことで、日頃の職場での勤務中に、冷静な判断ができるようになりました。介護老人保健施設をご利用される方が急に状態が悪くなっても、落ち着いて判断し、周囲に指示を出せるようになりました。
- 最後に、即応予備自衛官としての心構えを教えてください。
- 即応予備自衛官として平時に、任務の理解、訓練、準備をしていかなければ、有事の際に活動することはできないと思います。いかなる状況においても任務を完遂するため、自ら困難な環境に身を置き、できない事をしっかりと認識して、訓練により練度を向上させてきました。また、皆さんそれぞれ職場の環境は異なりますが、私の場合、本来なら体を休める休日を使っの訓練参加は決して容易ではありませんでした。しかし、出頭に協力してくれている人、無事に帰りを待っていてくれる人がいることに気付き、その方々に感謝の気持ちを持って自らが寄り添うことで、よりよい人間関係が築いていけたと思います。

長い間、本当にお疲れさまでした。

第31普通科連隊所属の即応予備自衛官及び同部隊で実施中の特技取得訓練に参加している予備自衛官（公募）の一部は、今年度の締めくくりとなる東富士演習場で実施された訓練に参加し、各種練度の向上を図りました。

【第31普通科連隊 第4中隊即応予備自衛官・第3中隊予備自衛官(公募)特技取得訓練】
～東富士演習場～



一発必中

狙撃 —SNIPER—

▼観測手との連携



三者連携

81mm迫撃砲 —MORTAR—

▼協同連携▼



▼砲手の精密な照準



▼分隊長



▼弾薬点検異常なし！



▼F O（前進観測陸曹）



特技取得訓練

予備自衛官（公募）が即応予備自衛官になるための訓練
3年以内に約40日間（基準）の訓練により基本特技を修得



千葉地本予備自衛官室HP
（各種制度説明あり）

自衛隊千葉地方協力本部
援護課 予備自衛官室
043-251-7151（内326）
070-7020-3513（公用携帯）

Email: pco_chiba_emps03@ext.gso.mod.go.jp

